

科目	都市情報工学 (Civil and Information Engineering)		
担当教員	中尾 幸一 教授		
対象学年等	都市工学科・5年・前期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	A3(100%)	JABEE基準1(1)	(c),(d)1
授業の概要と方針	都市情報を扱う支援ツールの一つとして様々な活用がなされている地理情報システム(GIS)の原理や機能などとその概要について学習する。また、地上監視の技術の一つである人工衛星画像によるリモートセンシングの概要とその利用法についても学習する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A3】 支援ツールとしての地理情報システムの基本構成，データ構造，構築方法などの概要について説明できる。		地理情報システムの基本構成，データ構造，構築方法などの概要について説明できるか中間試験で評価する。
2	【A3】 地理情報システムの活用技術の修得と都市情報工学全般への応用力を持つ。		地理情報システムの活用技術を修得しているか，都市情報工学全般への応用力があるか，実際の都市情報を使った地域分析レポートと中間試験で評価する。
3	【A3】 リモートセンシングに関する基礎的な知識を持つ。		リモートセンシングに関する基礎的な知識を持っているか定期試験で評価する。
4	【A3】 人工衛星画像の基本的な分析を行うことができる。		人工衛星画像の基本的な分析を行うことができるかを，演習レポートと定期試験により評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は，試験85%，レポート15%として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	プリント		
参考書	「基礎からわかるGIS」 吉田均ほか 森北出版 「地図情報システム入門」 鎌田靖彦 日刊工業新聞 「入門地理情報システム」 Jeffrey Star John Estes (岡部篤行訳) 「図解リモートセンシング」 日本リモートセンシング研究会編 日本測量協会		
関連科目	測量学，都市環境工学		
履修上の注意事項			

